



ある朝、目が覚めるとそこは電車の中でした。
電車の中には誰もおらず、私だけがポツンと座っています。
…
…どうやら、唐突に夏の特異点イベントが始まったみたいです



しばらくすると、電車はひなびた駅に停車しました。
「きさらぎ駅」と書いてあります。
どこかで聞いた事があるような…？
駅には人の気配がありません。どうやら無人駅の様ですね



ポケットにはお金も切符もありません。仕方なく、無人の改札を
ヒョイっと乗り越えると、駅前に広がるのどかな田園風景が
目に入ってきました。その時、背後から
「キミキミ、ちょっといいかな？」という声が聞こえてきました



巡査

巡査部長

振り向くと、そこには仁王立ちしたお巡りさん達の姿がありました。
「キミィ、今、切符を出さずに改札を出たね？明らかに無賃乗車だ。」
「最近、この町では【少年少女の神隠し事件】が頻発しているんだ。
人身売買に絡んだ犯罪とみられている。怪しい人間は厳しく
取り締まるぞ。そこを動くな。【ボディチェック】を行うからな」



どうやら、この特異点で発生した【**少年少女の神隠し**】を解決するのがイベントの目的みたいです。(今回はそういう系かぁ)
などと呑気にかまえていると、お巡りさんたちは私をがっちりとり押しさえ、胸を揉みしだき、下着の中に手を突っ込んできました。「ちょ、ちょッ！ やッ…やッ！ あッ…なに、して…ッ」



お巡りさんがねちっこく胸を揉みこんでくるので、わたしのあそこは意思に反してヌルヌルです。それを察したもう一人のお巡りさんが下着の隙間から指を差し入れてきました。男の人のゴツゴツした太い指が、わたしの濡れた穴のツブを一つずつ翫りながら、小刻みにピストンを繰り返します。



「うッ…ぐッ…んッ…はあッ！うう～いいいいッ…ツんひいッ」
「キミはこのあたりの人じゃないな？家はどこだ」
「う…ううッ…あッ…あうッ…わ、わたし…気が付いたら
この駅に降りてて…」
「無賃乗車のうえ、住所不定というわけか」

それでは、不良少女の
【更生指導】を始める

唾液をからめて
カリーを念入りになめるんだぞ

…ふあい

だいじなところを指でほじくられて
頭が真っ白になっていた私が、お巡りさんに
逆らえるはずがありません。
【更生指導】を受けるはめになりました

駅の隅っこにつれていかれ、服を脱がされ
ます。偉そうなお巡りさんの
巨大な肉棒を前にしてしゃぶるのを
ためらっていると、頭をつかまれ無理やり
口の中に挿れられました

チョッ・チョッ

ぢゃる

ぢゃる♡

ムキッ

ムキッ

んぐ

誰が不良少女ですか…
それにしても偉そうだなあ

巡査、きみは
一部始終を撮影して
くれたまえ

巡査部長どの！
ラジャッス！

おぼおつ

んぼおつ

んぐ

んぐ

舌でカリの周りを
ペロペロ舐めると
ビクンビクンしてる
気持ちいいんだ…

アッ！
アッー！！

クソッ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ
ちゅちゅ

裏筋ペロペロしながら
前後にストロークはどうだッ

エイッ
エイッ
エイッ

おぼッ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

んぽおおおお
んぽおおおお

いつちやえ！

早く出しちやえ
ってば！

あー！
ぐだちゃんッ
そんな強く吸ったらッ
ウツ

おぼッ

ブルブル
ブルブル
ブルブル

おぼッ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

アツ

アツ

出てる！
ぐだちゃんの口に
本官のくっさい
ザーメン出てるぞお！

おぶっ

ザッ

ジュジュ

ジュ

おぶっ

ジュ

ジュ

ぶぶ

ジュ

ジュ

おぶっ

凄い量の
精液出てる…

喉ッ奥まで…
おちんちんでいつぱいッ
脳みそまで犯されてるみたい

ぶっ

ジュ

ぶっ

ウツウツ
あ、ああ…
しぼりとられる…

おツ：
アオオオ...

ちんぽを吸い出しながら
ペロで裏筋を舐めてくるッ...

ぞんぞん

ぞんぞん

びくん

ぶぶッ

ズロロロ...

ツバのじゅるじゅるしゅごいいッ
おっぱいがむにゅむにゅしてッ
背骨が浮く...ほどッ
ぎぼじいいいいッ...

おぶぶ...
ぶぶ...

じゅるじゅる...
おっ...

ぐだちゃんッ
ま、まだッ...
まだ飲むなよッ!...
本官がいいって言うまで
口の中に精液溜めとけ!

んぶッ



フリーフリーッ！
よ、よーし…小生意気な
小娘の口に出してやったッ
わ、わかったな？この町では
本官たちに逆らっちゃいかんぞ？

わかったら見せるんだ！
オジサンの眼を見ながら
口の中のザーメン…見せろッ…

んぽお…

♡
♡
♡

びんびん
びんびん
びんびん

んぽお…

んぽお…

偉そうにしてるけど、こんなに
情けない顔して
気持ちよさそうに痙攣しちゃって…
男の人って、おちんちんいじめられると
こんなに弱いんだ…

ヨ、ヨシ…ッ
そのまま全部飲めッ
本官の顔を見ながら飲めッ

クスクスッ
支配欲だけは
強いんだなあ

びんびん
びんびん

ウウツ
ウウツ

フキユ
フキユ...

ねばついてにがい...

フキユ
フキユ...

びくん

フキユ
フキユ...



すごく気持ちよさそうな
顔してイってましたよ
男の人も女の子みたいな声で
啼くんですね

クスッ
いっぱい出た...

フキユ
フキユ...

フーツ
フーツ

ムカッ
ムカッ

ムキユ
ムキユ...

ムキユ
ムキユ...

(こ、このメスガキツ…
警察を馬鹿にしおってえ…)

ズン
ズン
ズン

お巡りさん、ちよっとよろしいか？
私は、その町役場で
働いてる者なんだけんども
一部始終見てたら
ムラムラしちゃってよお

そこで、僭越ながら
「見抜き」させてもらっても
よろしいかね？

ハハアツ!
!?

!?

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



どーぞどーぞ！
「見抜き」と言わず
このメスガキの穴を
使い倒してください

えッ!?

この小娘は無賃乗車した
うえに住所不定の不審者
なんですよ
なんの目的で町にきたのか知らんが
一発ぶち込んでわからせてください

ちよっ
ウソでしょ!?
私、本番はNG
ですよ!

それでは！
お言葉に甘えて小娘の
穴を使わせてもらおうっぺよ

ヤダヤダヤダあ！

ムンムン
ムンムン

ムンムン

ムンムン

ムンムン



すごくきれいな
スジマンだべ
尻穴もヒクヒクして
薄いピンクだあ

ヤダヤダヤダヤダ！
見ないでッ

変態！
バカアツ
ヘンタイ！

コラコラ！
町役場の人に向かって
なんて口のきき方だ

まったく、ガキは
これだから

ザン

頭押さえないでよッ
ハッ
ハッ

ガクッ
ガクッ

役場の人がちんぽを
挿れやすいように
四つん這いになって
尻を上げてなさい

お、お巡りさん！
さっき、口でおしやぶり
するだけって
言いましたよお…

すまん！
本官は女の子に
やられっぱなしは性に
合わないんだ

私のフェラが
気持ち良すぎて
アへ顔しちゃったからって
仕返しするとか！
ひどいですよおツ
それでも警官ですか！

バカアツ

ガクツ
ガクツ

ア、アへ顔なんて
してねーし…
本官は警官だぞ。住所不定な
小娘の分際でさっきから
生意気な口を利きおって…

ハツ

ハツ

アツ

グツ

そういうところだぞ！
キミは不審者のくせに、
町の大人に対する敬意を
欠いているのだ

でもでも！
お巡りさんが私の口で
気持ち良くなつて
女の子みたいな声で
啼いたのは
事実じゃないですか！

ああいうのを
メス堕ちつて言うんですよ！
ホントの事なのに！

町役場の方！
もう、ぶちこんじゃって
ください！
メスガキはちんぽで
わからせるしかない！

了だっぺ
「穴」としての役割を
思い出させて
やるべな

ハッ

ハッ

ヤメロオッー！！

わー！わー！
ヤメテ！ヤメテ！
ヤメテエ！！

ガクッ
ガクッ

マン肉の入り口を
こじ開ける瞬間が
「支配してやる」という
感じてたまらないべな

ひッ...

わかります
「お前の体は私の
所有物なんだぞ」という
圧倒的支配感ですね

さあ、ぐだちゃん
更生させてやるからな
自分の穴で
勉強しような

ヤダ...ヤダ...
ヤダ...ヤダ...

おち♡

ビクッ

ガクッ
ガクッ

ハッ

ハッ

ハッ
ハッ

そ、それ以上
入れたらほんとに
怒りますよッ



うぎい...
グツウツ...

ほーら
娘っこの大事な穴に
ちんぽが入っちゃってるべよー

ビッ
ンビイイイッ

ズクズク

おお...
この穴すごいぞら!
熱いツブツブが多くて
汁でドロドロの
グツチヨグチヨだべ!

膣肉がうねるように
絡みついてちんぽを
揉みこんでくるべな...
ミミズ千匹!
この穴は間違いなく名器だなや!

ぬるぬる
ぬるぬる

ぎゅ
ぎゅ

ガクツ
ガクツ

イッ

グッ

イッ
イッ

わ、わたし...
知らないオジサンに
おちんちんいれられてるう...



く、くやし...
こんなモノ、みたくに
扱われて！

ほーら
ちんぽを
出し入れしちゃう
べよ

ホレツ
ホレツ
ホレツ

ンツハアアアツ

アツ
ハツ
アツ

まるで性処理道具
みたいにつ...
クソ...ツ
こんなキモイおじさんたちに
いいように扱われて...!!

おん
おん
おん

ガクツ

ガクツ
ガクツ

110
110

110
110

110
110

110

110

110

ぬ、ちゅ

♡

ぬ、ちゅ

おん
おん
おん



オホオホニッ

脱がしてみると
でかいべなあー
まるで牛だなや
お、またイッた

穴ん中もすごいべ
愛液でヌルヌルの壁が
全体でちんぽをしゃぶって
くるんずらよ

性格は生意気なメスガキ
ですがね
ちんぽを喜ばせる穴は
一級品というわけです

しまゆうツ
ごんぱん
ただがれてるニッ

ビショッ
ビショッ

オホオホニッ

ガクッ

ガクッ

ズニッ

ガクッ

ブルン

ガクッ

ガクッ

お巡りさんたちは
私を侮辱しながら、その言葉に
反応する私を見て喜んでいます
四つん這いの犬みたいな格好で
犯されるのはとてもミジメだけど
気持ちよくて喘いでしまうのが
いっそうミジメです

オホオホニッ

おほい
アヒッ
ハーハー

イヒッ
ビショッ

おほい

ビショッ
ビショッ

ハニ

おほい

その後、駅前の公衆トイレに連れていかれました
偉そうなお巡りさんが勝ち誇った顔で
「とどめを刺してやるからな」
と囁いています

ホラ、本官のちんぽを
見てごらん。凄いだろう？
ぐだちゃんへのソまで
届くからね

な、ななななにーのおおききー！
こんなの入れられたら
私どうなっちゃうの…

このちんぽで突かれたら
どんな不良少女も
よがり狂ってただの
メスになるんだ

本官はこのちんぽで
大勢の不良少女を
更生してきたんだ
実績のあるちんぽさ

ううツ
ううツ
ううツ



ううツ

ううツ

ズン

!?

まだ生意気な口を利く力が
残っているなら抵抗してごらん
本官はかまわんぞ

く、くそお…
ばかにしてえ…

うツ

うツ

コッコッ



や、やってみれば
いいんじゃないですか？
嘘つきメスイキお巡りさん
あなたなんてキモ過ぎて
感じないですよ

だいたい
レイプでマウントとるとか
サイテーな警官じゃないですか…
頭の中どうなってるんですか？

…しねばいいのに
スペースで
馬をしらないで

アッ

アッ

アッ

ウツ

アッ

それに、こう見えても
わたし修羅場をくぐって
ますから
これくらいじゃ
気持ち折れませんよ

世界救ってるもん

ルルル
ムカッ



お尻の穴に
挿れられました

オラッ！
ケツ穴ほじられても
イキがってられるか！

ほぎいいいいいい

おっ

ウンコ出る穴に
チンポ突っ込まれる気分は
どうだッ？

ビイッ！
ビイイッ！！

い
のスペー
をしない

なんとか言いたまえ！
修羅場くぐってる
んじゃないのかね！

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ





的スペースで
罵をしないで
い

ふお
おお
おお
おお

チンポ抜かれると
内蔵引っ張り出されるみたいなの
気持ち良さだろ？

あお
お
お
お

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

お
お
お
お

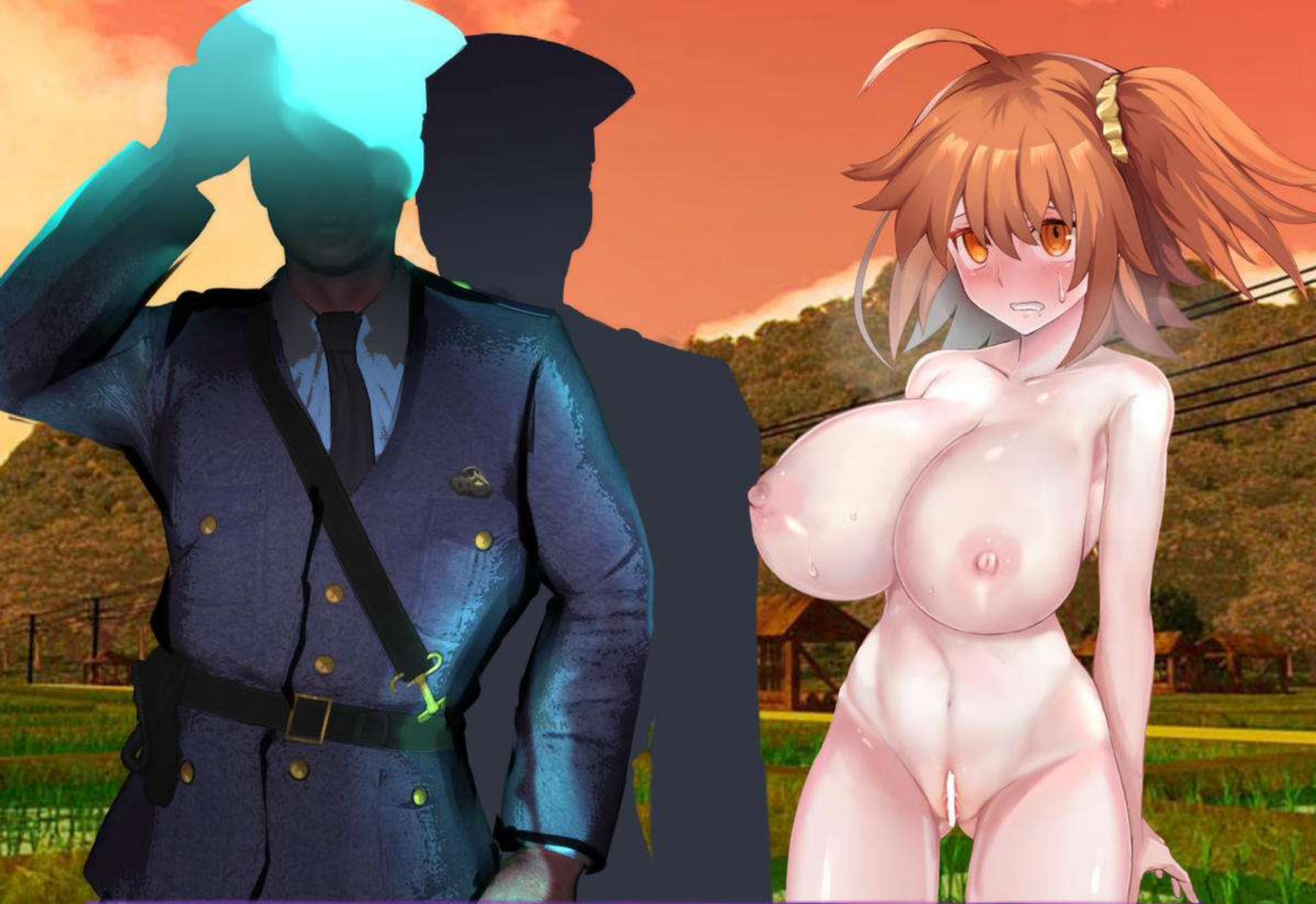
クル
クル
クル

チ
チ
チ
チ
チ
チ



巡査、頼む

あ、配信で
流しとくッスね



「ハアハア…あッ…あう…うう…」

「よし、そろそろ【更生指導】はいいだろう。

ぐだ子ちゃんがこの町でなにをするかは知らんが、今は
【少年少女の神隠し事件】が頻発してる。気を付けるように。」

「それから、我々警察官には敬意を払うように」 「ふぁい…」



メスイキお巡りさんには腹がたったけど、さんざん犯されたうえに
何度もイカされたので、今は反抗する気力がわきません。

悔しい...

そうして、股の間を流れる精液を見てぼーっと呆けていると
町役場の人声がかけてきました



「いやー、ぐだ子ちゃん。いい締まりだったっぺよ。ミミズ千匹数の子天井の穴ずら。天国だったっぺ。またお相手してくれずら」
「…お、お断りしますッ」
「ハハッ。あれだけ突っ込まれたのに屈しないとは見上げた根性だなや。まあ、それはそれとして、住む家が無いんだべ？」



「実は、海辺近くの丘に農家が密集してて、そこに【使われていない家】があるんだあ。家の持ち主に話つけとくから、そこに住むといいずら。」

「…ありがたいですけど、わたし…お金もってなくて…」

「金はいらんずらせよ。人が住まないと家は腐っちまうしなあ」

「ほんとですか！やったあ！ウレシー！（特異点の攻略拠点ゲットだよ！）」



無料で拠点が入ったので、レ○プされた屈辱も恥ずかしさも
わすれて、裸でぴょんぴょん飛びながら喜んでいると、お巡りさんたちが
じろじろ見つめてきました。

「なんか、この子を見てたらムラムラして、また【指導】したくなってきたな…」
「巡査部長…オイラ撮影してたから、まだやってないッスよ…」

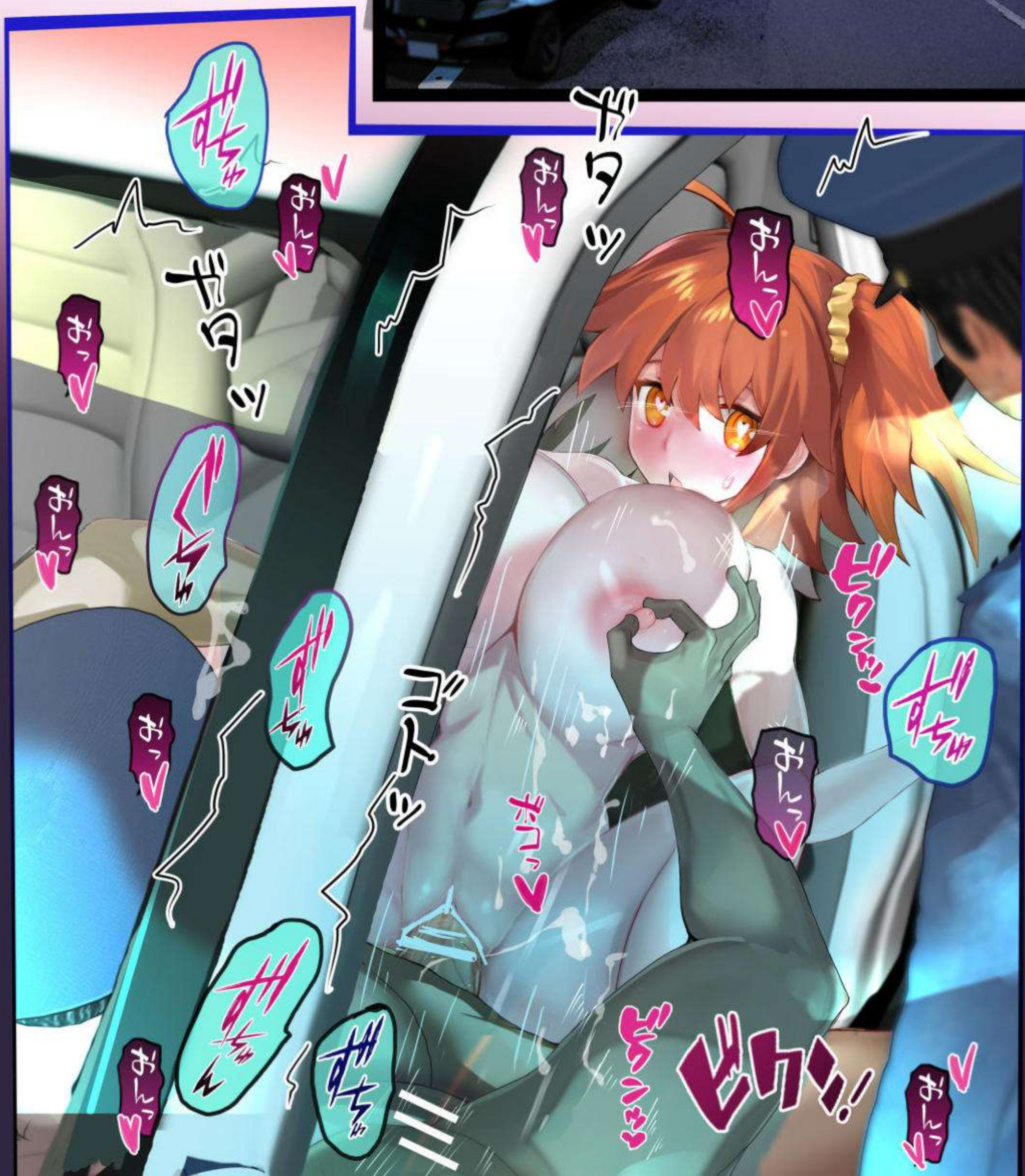


「そうか。巡査には【更生指導】の撮影を頼んでいたね。不公平はよくないな。
よし！ならば全員で指導のやり直しだ」

「ハァー！？ヤダヤダヤダ！わたし逃げますよ！付き合ってもらえない！」

「ばーか！この変態！レイプ魔！犯罪者！」

罵倒の限りを尽くし、服を掴んで逃げ出そうとしましたが、
あっという間に捕まってパトカーに押し込まれてしまいました…





オラッ

オラッ

オラッ

アゴがはずれそうになるほど
太い肉棒をしゃぶらされ続けます
心を込めて肉棒を舐めしゃぶり
はやくこの行為が終わることを
願うしかありません

オラッ

オラッ

おっほおっほ

おぶらッ

ぶぶぶ

どんなに抵抗しても、三つの穴に
突きこまれた肉棒が強制的に
与えてくる快楽に勝てはしません

自分の体はどうしようもなく
女だと自覚させられた時、
三つの穴がキュッと締まり、
肉棒に射精を促しました



おぶらッ
おっほおっほ

ぶるん

おっほ

おっほ

数時間後

お腹の中をぐちゃぐちゃにかきまわされる快感で意識が消えかけるとすかさず子宮が小突きまわされ新たな快感で強制的に目覚めさせられます



どんなに抵抗しても、おとなのちんぽには勝てません
パトカー周辺には、わたしの喘ぎ声を聞きつけた
住人が、スマホでわたしの輪姦を撮影しています。
失神するまで犯された後、パトカーで住居まで連れて行ってもらいました。
明日から特異点の攻略がんばろう...



二話の予告
「お家を無料でもらったよ」